

2

区における案内標識の現状と課題

(1) 現状

本計画策定の基礎資料とするため、区内の案内標識等の分布状況、形式、表示内容などの調査を行いました。

調査方法は、一次資料として、各案内標識等の所管部署から、案内標識等の名称、設置位置、設置年月などのデータを収集しました。さらに、一次資料に基づく現地調査を行い、各案内標識等の分布状況や表示内容等の詳細、各案内標識等の形式の種類、案内標識等の近接事例について調べました。

調査の結果、区内には、区が設置する案内標識等が、18種類、計3,394基設置されていることが分かりました(表1)。

表1 区の設置する案内標識等

(平成22年8月現在)

No.	案内板名称	数	所管
1	観光案内板	15	アカデミー推進課
2	避難場所標識	31	防災課
3	住居表示街区案内板	147	区民課
4	歩行者案内標識	192	道路課
5	施設案内図	2	高齢福祉課
6	白山交流館・千駄木交流館案内板	2	区民課
7	くらしのみちゾーン標識	10	道路課
8	みどりのウォークラリー	20	みどり公園課
9	旧町名案内板	154	区民課
10	史跡案内板(坂道/文化財)	282	教育委員会
11	区民斎場及び区民斎場事務所	3	高齢福祉課
12	交流館掲示板	6	区民課
13	歴史と文化の散歩道	118	アカデミー推進課
14	地点名標識	149	道路課
15	区設掲示板(ポスター掲示)	197	区民課
16	路面標示シート(路上喫煙対策)	540	環境政策課
17	電柱看板(路上喫煙対策)	660	環境政策課
18	交通安全看板	866	管理課

計 3,394

各標識の分布状況は図1 (p35) のとおりです。住居表示街区案内板、旧町名案内板、歩行者案内標識、史跡案内板などは区内全域に広く分布している一方で、みどりのウォークラリーや、くらしのみちゾーンなど、その設置目的から、設置場所が限定されている案内標識等もあります。

現地調査の結果、案内標識の中には、地図が表示されていても縮尺や距離、方位が書かれていないもの、地図のはがれなど劣化が著しいもの、同じ形式であっても設置年度により表示内容が相当に異なるもの、最新の情報が掲載されていないものなどが見られました。また、目的地までの誘導情報が十分ではない箇所もありました。

さらに、所管部署の違う案内標識等が近接して設置されている場所が見られました (図2)。「住居表示街区案内板」と「旧町名案内板」は隣接して設置されていることが多く、また、これらの周囲には「歩行者案内標識」があることが多くなっています。

図2 案内標識等の近接事例

(平成 22 年 8 月現在)



住居表示街区案内板と歩行者案内標識



歩行者案内標識と観光案内板



歩行者案内標識、旧町名案内板、住居表示街区案内板



史跡案内板と旧町名案内板

(2) 課題

調査の結果から、区内の案内標識等に関して、以下の課題が明らかになりました。

①不十分な案内機能

距離や方位の書かれていない地図や、目的地までの誘導情報の不足、掲載内容の不統一、また、掲載情報が更新されていないことなどにより、本来、案内標識に求められる誘導機能と情報提供機能が、十分に満たされていません。区民や来訪者にとって、不便が生じていると考えられます。

②景観の悪化

形式やデザインの異なる複数の案内標識等が近接して建っている事例が多くみられました。また、案内標識等のデザインが多種多様であり、統一性を欠いています。これらにより、景観が損なわれている場所が多く見られます。

③区のイメージ低下

案内標識等の掲載情報が古くなっていることや、多種多様な案内標識等の林立は、案内標識等の利用者のことを十分に考慮していない、区が来訪者を歓迎していない、という誤ったメッセージを発してしまいます。これは、区のイメージの低下につながります。